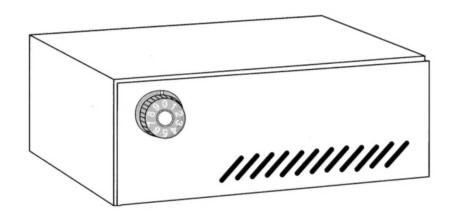
取付·取扱説明書

ポステック CSP-11型



この度は、ポステック CSP-11 型をお買い上げいただき、ありがとう ございました。

この商品を末永くご愛用していただくために、この取付・取扱説明書をお読みいただき、正しい取付けと取扱いをしていただきますようお願い致します。

尚、この説明書はお読みになった後、必ず保管して下さい。



本社 〒532-0033 大阪市淀川区新高2丁目7番13号 電話(06)6392-5321(代表) 東大札盛仙埼京阪幌岡台玉京阪幌岡台玉芸堂、東京東学業業業

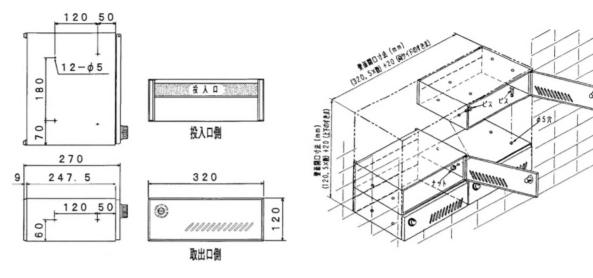
(03) 3633-6551 (代) (06) 6392-5556 (代) (011) 232-3017 (代) (019) 637-8241 (代)

(054) 237-5375 (代) (0586) 77-7561 (代) (086) 297-9100 (代) (082) 294-9181 (代) (092) 935-9731 (代) (042) 567-1338 (代)

取付説明

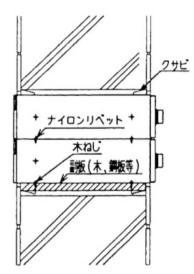
本体寸法図

壁面開口寸法



取付方法

- 1. 取付開口底部に副板等を取付け、水平を出します。
- 2. 副板にポスト本体を載せ、木ねじ又はタッピンねじで 固定します。
- 3. 左右のポスト本体をナイロンリベットで固定し、順次 副板にも木ねじ又はタッピンねじで固定します。
- 4. 上下左右の隙間と、本体に「ねじれ」が生じないよう、 又扉の開閉に支障がないよう調整しながら順次積み重 ね。ポスト本体同士をナイロンリベットですべて固定 します。
- 5. 上部両端の角部をくさび等で固定し、躯体とポストの 隙間をモルタル等で埋めます。



●注意事項

- 内、外装工事中は製品をシート等で保護してください。 (チリ、ホコリ等で製品に支障をきたすことがあります。)
- 2. ポスト本体をまわり縁に直接溶接しないでください。
- 3. 本書は必ず本体内に入れておいてください。 本体内の説明書、シール等はなくさない様ご注意ください。
- 4. 工事中は安全のため保護手袋、安全帽を着用してください。
- 5. 当製品は屋内仕様です。屋外では使用できません。

取 扱 説 明

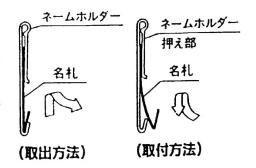
ネームホルダーの名札取付けについて

[取出方法]

- ・扉を開け樹脂製ネームホルダーの裏側から、名札の 折返し部分を図の矢印方向へ引き出して下さい。
- ・お名前(部屋番号)はマジック、マーカー等で名札 に書いて下さい。

[取付方法]

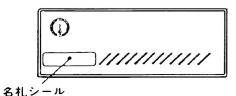
・取付けるときは、名札の上部からネームホルダーの 押さえ部へ図の方法で差込んで下さい。



取出側名札シールの取扱いについて

・名札シール(本体袋内の銀のシール)に油性サイン ペンで名前を書いて貼り付けて下さい。

取出側名札シール



ダイヤル錠について

・解錠シールに従って、番号を合わせツマミを引けば 扉は開きます。

[開ける場合]

例えば、解錠シール番号が左へ2回3、右へ1回9 の場合。

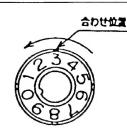
- ①ダイヤルを左回りで2回転させて親番号の3に合わ せる。
- ②次に右へ戻して子番号9に合わせて、ダイヤルを手 前に引けば扉は開きます。

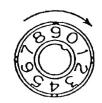
[施錠する場合]

扉を閉めた後、必ずどちらかに1回転以上ツマミを回 して下さい。

(注意) 1 回転以上ツマミを回さないと、扉がそのまま開 くことがあります。

左へ2回3、右へ1回9





解錠シールは、扉のネームプレート内に2枚付いています。それを取り外して1枚は管理人に渡し て下さい。解錠もう1枚は個人用として保管して下さい。

注 意 事 項

- (1) 扉にぶら下がったり、重い物を載せないでください。 扉の破損、本体のひずみを生じる恐れがあります。
- (2) 投函物を取り出す際は、扉での指づめにご注意ください。



(3) 投函物を取り出した後は、扉を確実に閉めてください。 頭などをぶつける恐れがあります。 完全に施錠されていないと投函物を投入したとき、 勝手に開放することがあります。



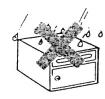
(4) 扉の開閉はゆっくりと静かに行ってください。 雇の破損や錠の故障の原因になります。



(5) 貴重品の保管には適しておりませんので重要書類、 鍵などは入れないでください。 盗難などには対応できません。



(6) 商品は屋内仕様です。屋外でのご使用はできません。 雨水がかかる場所では中に水が侵入します。



お手入れ

- ・ステンレスは他の金属に比べると耐久性に優れており、錆びにくい性質を持 った金属ですが、絶対に錆びない金属ではないためお手入れをしてください。
- ・普通のヨゴレは柔らかい布に水を湿らせて拭いてください。
- ・特に汚れのひどい時は、水溶性の中性洗剤を布に付け軽く拭き取ってください。
- ・タワシ、磨き粉、シンナー等の使用は変色、キズの原因となるため使用しないで ください。











